

# あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、  
「住民こそ主人公」の  
あきる野市政実現をめざして！

2007.5.13 No.462 (毎月2回発行)



### かいっぱい三多摩メーデー

5月1日、第78回三多摩メーデーだ。吉祥寺駅を降りると同じ方向に向かう人がゾロゾロと続きます。

「ストップ！戦争をやる国づくり」なくせ！格差と貧困。労働法制改悪反対。働くルールの確立を。をかかげた集会は、低い雨雲から小さな雨粒に見舞われましたが、それを

## 西多摩で現有8議席確保 得票・議席占有率伸ばす



バトンタッチする高橋前議員の応援をうける鈴木新議員

### 羽村では新人の鈴木たくや候補がトップ当選！

羽村市では、定数二減のもとで新人の鈴木たくや候補がトップ当選し、現有三議席を獲得。議席占有率では一五％から一六・六％に伸ばしました。青梅市、瑞穂町では現有議席を確保しました。福生市では、定数二減のもとで得票を二一五票伸ばし、現有議席を確保しました。

### 鈴木たくや選対(羽村市)を支援して

グリーンのジャンパーを着た鈴木たくや候補と二・三人の自転車部隊が走る後ろから候補者カーが追ってゆきます。住民は手を振り子供たちは声を上げて追いかけて「まるでお祭りのようだった」と感想が入りました。32年来の羽村での共産党トップ当選が果たされました。

### 定数削減や反共デマと「大丈夫論」のなかでの闘い

今回の選挙は、どの選挙区でも二大政党づくりが持ち込まれる激烈な党派間の争いとなりました。オール与党派陣営は、定数削減に加え、共産党「大丈夫論」攻撃で、二重三重の「共産党シフト」で挑んできました。福生市の公明党は、候補者自らが口汚い反共演説を行うと共に、中学生までの医療費無料化問題で、共産党の「デマ宣伝」と反共謀略ビラを告示日と最終日、そして、投票日の未明にも

配布するなど異常を極めました。

### 日本共産党の前進と、自民系の後退・社民党の議席ゼロが特徴

西多摩の日本共産党は前回得票を一五四票を伸ばし現有議席を確保し、議席占有率では八％から八・三三％へ前進させました。一方自民系は六議席減、民主三議席増、公明改選議席数で、自民党の議席後退が際立つ結果となり

ました。

### 七月はいよいよ参議院の選挙

いよいよ七月には、今年最大の政治決戦・参議院選挙です。

いつせい地方選挙の前進に確信をもち、一大政治戦での躍進を期して日本共産党は頑張る決意を固めています。



### こどもごらし

こどもが歩くようになると、大人なら10分のお使いでも30分、1時間は当たり前。牛乳1本、食パン1斤だけのお使い、こどもに頼めたら…。大きくなったらお使いを頼もう！そう思い続けて数年、むすこが小学校に入りました。「お使いたのめる？」「やだ。」にべもない。一緒に行って練習しても、妹をお伴にしても「むり、行けない」。でも、やっぱり育つものですね。2年生の途中から1人でお使いに行ってくれるようになりました。本当に大助かりです。

今できなくても、将来もずっと1人で買い物ができないわけじゃない。待てばいい。気付くのはいつも過ぎてからです。ヤレヤレ。  
(07.5.13)  
たばた あずみ  
連絡先は☎550-6674  
(湘)

### 野良望

雑誌「通販生活」の裏表紙に作家・半藤一利氏の「太平洋戦争クイズ」が載っている。三択式で正解にはびっくりするものが多い▼太平洋戦争の戦闘員の死者は、陸軍150万人、海軍47万人とされる。このうち広義の飢餓による死者の比率は？  
10%か40%か70%か。正解は70%。不破哲三氏がすでに指摘していることだが、半藤氏も「日本の作戦がいかにずさんで、この戦争が無惨であったかを語る」と解説▼外地での戦死者のうち、現在06年3月31日、まだ遺骨が戻ってきていない数は？ 正解は100万人以上、150万人の遺骨が戻っていません。日本の戦後処理は、靖国神社にお参りにいくより、早くこうした人々たちを救って！ っって私は思うんですがね▼と半藤氏▼こんなひどい戦争を反省するどころか「アメリカと一緒に海外で戦争すること」をめざして集団的自衛権の行使と憲法改悪を挑んできている安倍政権には「改憲ノ」の正解を突きつけるしかない。さあ参議院選挙だ。

『瀬音の湯』も開業して1ヶ月。鳴り物入りの「木質バイオマスシステム」はいま……？

「温泉問題を考える会」市民講座第2弾！

# 木質バイオマスって？

講師/大場龍夫(株)森のエネルギー研究所代表取締役

■とき/5月20日(日)PM1:30~

■ところ/ルピア3F研修室  
(資料代=500円)

山柳二題  
許すまじ テロ長嶋の 鐘永遠に  
規範説く 大臣まったく 規範なし

西川 昇



後援会便り

ハイツ、伊〜豆。カシヤツ



映画

## 日本の青空

大澤豊監督作品

あきる野上映会

### 成功させよう！

6月20日(土)午後2時、6時/キララホール

券1200円  
学割券800円  
当日券1500円

劇映画『日本の青空』は、日本全国で1枚1000円の製作協力券を売って資金を集め、憲法施行60周年に合わせて製作されました。  
現憲法は、敗戦後の日本を占領したGHQに押し付けられた憲法と言われます。実は、そうではなかったのです。敗戦後、政界や団体や個人が、いろんな憲法草案を発表します。その中の一つ、鈴木安蔵たち7人の憲法研究会の憲法草案が、GHQ

場面「憲法を守る風船フェスティバル」に参加したからです。いま、国会で、国民の望んでない「改憲手続き法案」が、自民党、公明党により強行採決されようとしています。そんな時だけに、より多くの市民が見て憲法のすばらしさを実感してもらいたい映画です。  
「みる会」では、6月2日(土)キララホールで、午後2時からと午後6時からの2回上映します。「みる会」に結集するみんなが、上映会を成功させ、平和憲法を守っていく力としましょう。お問い合わせは、前田 5587857まで

### 《東地区後援会主催》伊豆の帰るバスの旅

4月25日(水)東地区後援会で、伊豆へ日帰りバス旅行に行ってきました。今回はいっせいで地方選挙で役員が支援に出ていた関係で、取り組みが十分でなく、参加者は23名でした。  
バスを降り天城トンネル

絵手紙/中村かほるさん 雨間在住



### 俳句

足腰の痛みぬいと日多喜二の志 (富士)  
ひとにぎりつくしを忘れず帰る (静子)  
はみ出でて柵の外なり茄子ひとつ (やす子)  
葉桜や夫七き月日まだ浅き (淑子)

雨あがるふる里の山巒がすみ (ルリ子)  
あづま屋をつつむ柵の大樹かな (静子)  
産院の弥生の赤子ほき続く (勝代)  
耕人になりきりし父母はるかなり (かほる)  
湖風やトロッコ電車に散る桜 (香浩)

### 地名考・小川郷①



普門寺(野辺)の庭

あきる野市で最も古い時期から郷名として知られてきたのが小川郷です。地域も広く、現在の小川地区に限られたものでなく、「日本地名辞典」にも「小川は秋川の谷にして東秋留村草花村にある」とあります。檜原村の雑司川は、小川郷の雑司川と見なされ、全国的に数多く見られます。国土地理院の地勢図だけで百を超えるといえますから、無名の字を考えれば限りなくあるかもしれません。  
地名の発祥としては、小さい川が流れる周辺を、極く自然に地名として呼ぶようになったと考えるのが一般的でしょう。

### 歴史探訪

第42回

野辺の普門寺境内を流れる藍染川があります。この川について「武蔵名勝図解」はこの小さな流れが昔よりあった理由で、小川郷と称するの、この流れによって起きたものと云える」と紹介しています。昔の藍染川は現在より西寄りか流れが速かったと云われますが、水量も今よりかなり多かつたらしく、小さな河川が小川台地を貫流し、地名もそこから起きたと考えられます。それではあきる野市内で最も古い地名の小川の起源はいつ頃なのでしょう。 (続く)

草花 木崎秀治